

# 2023年8月期 決算説明資料

マニー株式会社

*THE BEST QUALITY IN THE WORLD, TO THE WORLD*

2023年10月16日

## アジェンダ

- ① 2023年8月期決算 4
- ② 2024年8月期 業績予想 12
- ③ 中期経営計画 これからの進化にむけた取り組み 20
- ④ 補足資料 35

# 製品セグメントのご紹介

## サージカル関連製品

(眼科ナイフやステイプラーを中心とする手術用機器)



眼科ナイフ



ステイプラー

## アイレス針関連製品

(医療用縫合針のOEM生産)



アイレス針



アイド針

手術用針付縫合糸  
 歯科用針付縫合糸ほか

## デンタル関連製品

(歯科治療機器およびMMG (\*)製品)



歯科用根管治療機器  
 (リーマ・ファイル)



歯科用回転切削機器  
 (ダイヤモンド)



歯科用修復材

(\*) 歯科用修復材を生産・販売するドイツ連結子会社 MANI MEDICAL GERMANY GmbHの略称

# 2023年8月期決算

## 連結業績サマリー

- 旺盛な製品需要を背景に販売が加速。過去最高業績を更新
  - アジア・欧州・南米地域を中心とした地域で販売が増加。特にアイレス針セグメントの伸長が連結業績を牽引
  - 製造コストの上昇および積極的な営業活動の実施に伴い、売上原価と販管費は前年度より増加
  - 売上高・営業利益・経常利益は過去最高を更新。当初計画も全て上回って着地(円安による効果も含む)

(単位:百万円)	2022年8月期 実績 (A)	2023年8月期 実績 (B)	増減額 (C=B-A)	増減率 (C/A)	2023年8月期 計画 (D)	進捗率 (B/D)
売上高	20,416	24,488	+4,071	+19.9%	23,400	104.7%
売上原価 (%)	7,841 (38.4%)	9,066 (37.0%)	+1,225	+15.6%	8,450 (36.1%)	107.3%
販管費 (%)	6,411 (31.4%)	8,177 (33.4%)	+1,765	+27.5%	7,850 (33.5%)	104.2%
営業利益 (%)	6,163 (30.2%)	7,243 (29.6%)	+1,080	+17.5%	7,100 (30.3%)	102.0%
経常利益	7,544	7,995	+451	+6.0%	7,100	112.6%
純利益	5,290	5,953	+663	+12.5%	5,000	119.1%

# 売上高の状況(セグメント別)

- 売上高は前年同期比+4,071百万円(+19.9%)の増収
  - 為替影響+1,259百万円
  - 全セグメントで増収。特にアイレス針セグメントが好調に推移
  - MMG製品が欧米市場で売上を大きく伸ばすも、マニーのデンタル関連製品の売上が伸び切らない結果に

(単位:百万円)



2022年8月期  
通期累計

2023年8月期通期  
2022年8月期通期

1USD=138.60円 1EUR=146.95円 1元=19.69円  
1USD=121.73円 1EUR=133.48円 1元=18.68円

2023年8月期  
通期累計

# 売上高の状況(地域別)

- アジア(中国とインド)、欧州、南米地域を中心に製品需要が旺盛
  - セグメント別の詳細については37ページ(補足資料)参照

(単位:百万円)



2022年8月期  
通期累計

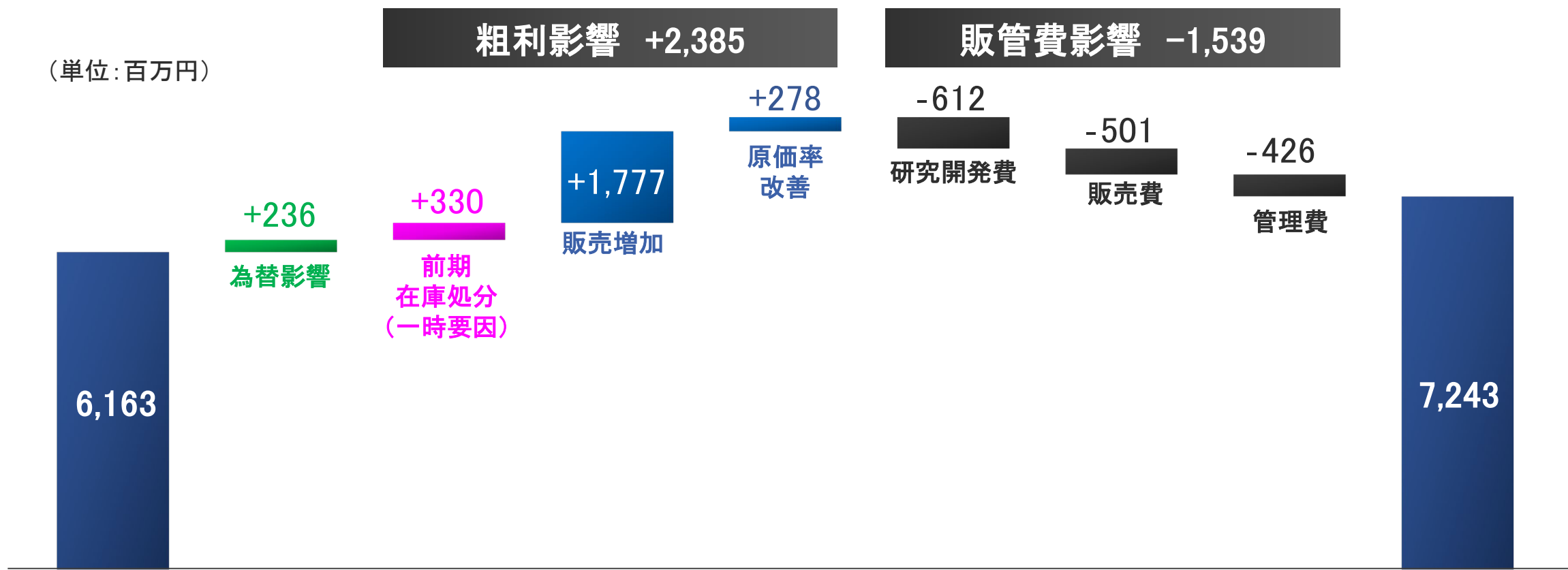
2023年8月期通期  
2022年8月期通期

1USD=138.60円 1EUR=146.95円 1元=19.69円  
1USD=121.73円 1EUR=133.48円 1元=18.68円

2023年8月期  
通期累計

# 営業利益の状況

- 営業利益は前年同期比+1,080百万円(+17.5%)の増益
  - 為替影響+236百万円
  - 粗利影響+2,385百万円: 需要拡大による増収が粗利の増加に寄与
  - 販管費影響-1,539百万円: 研究開発費の増加および人員体制の強化等による増加



2022年8月期  
通期累計

2023年8月期通期  
2022年8月期通期

1USD=138.60円  
1USD=121.73円

1EUR=146.95円  
1EUR=133.48円

1元=19.69円  
1元=18.68円

2023年8月期  
通期累計



# セグメント別業績

■ 2023年8月期累計  
■ 2022年8月期累計

(単位:百万円)

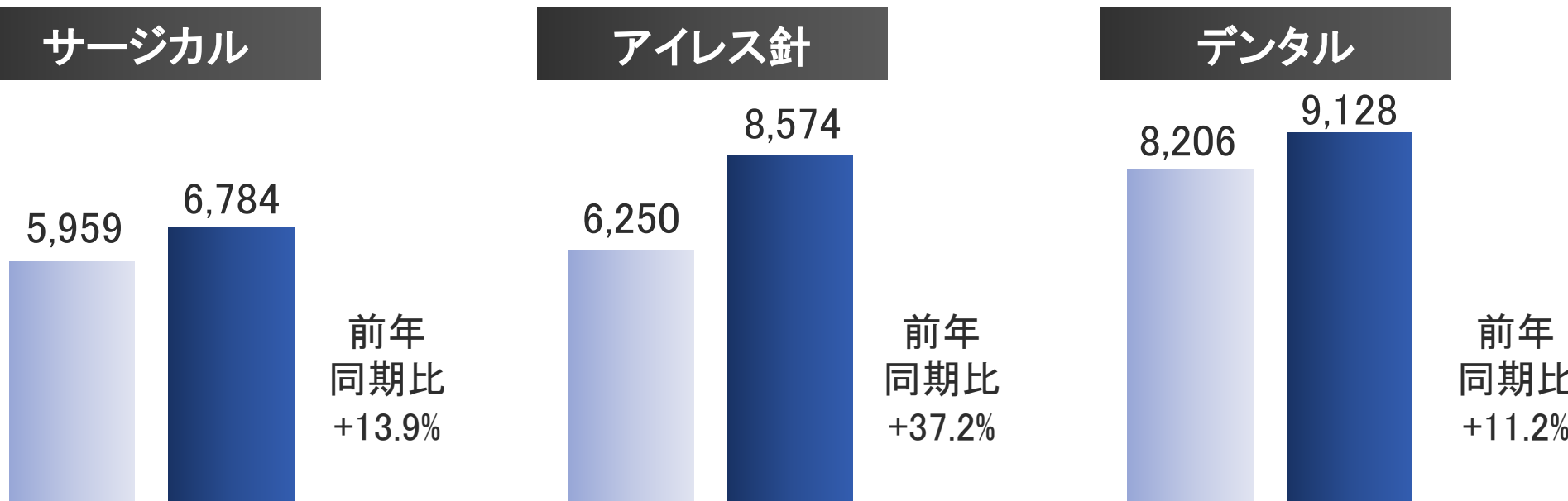
セグメント

サージカル

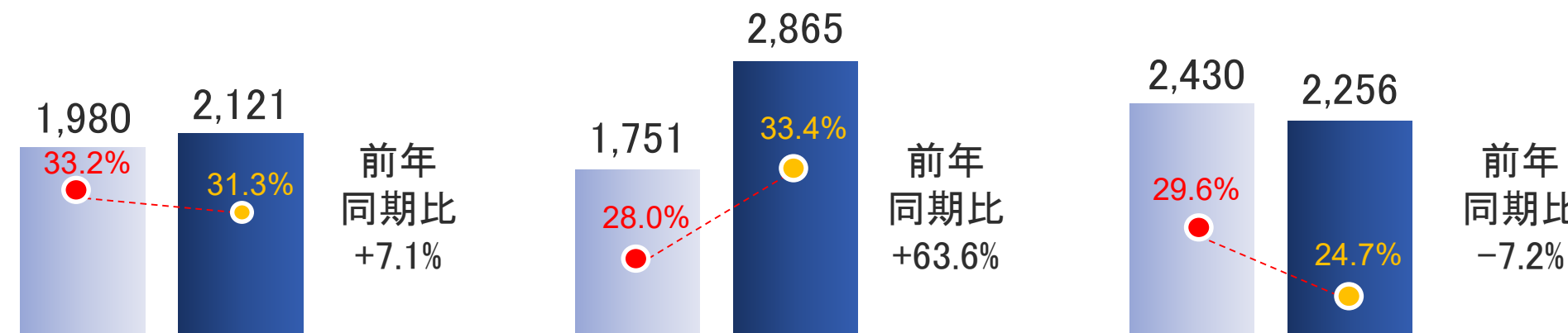
アイレス針

デンタル

売上高  
(外部顧客への  
売上分)



営業利益  
(営業利益率)

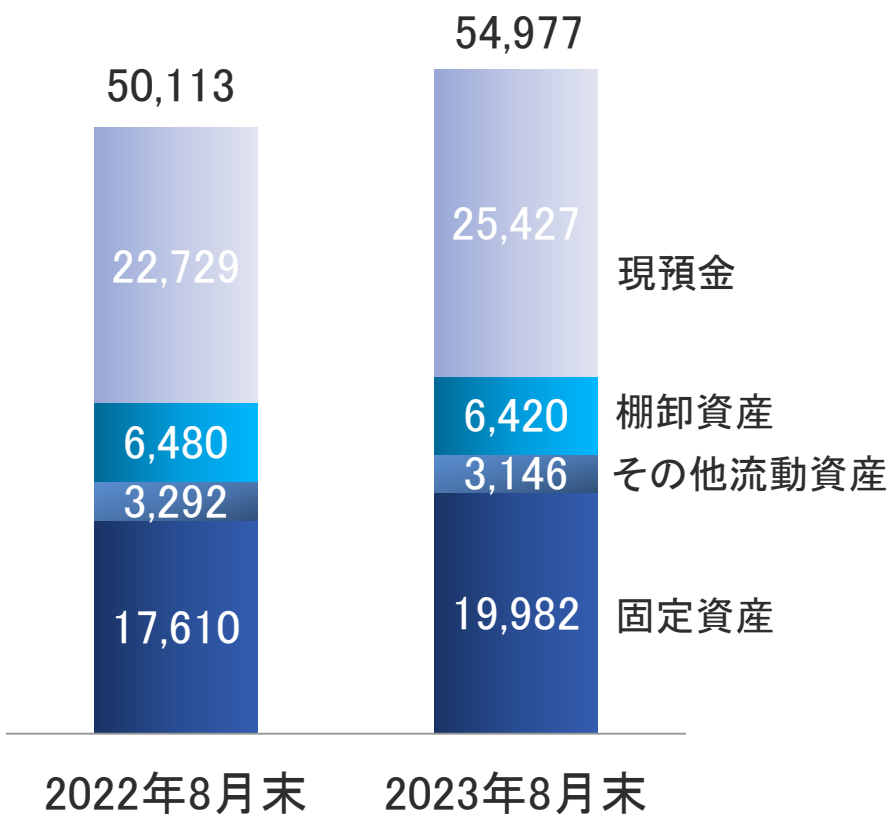


# バランスシートの状況

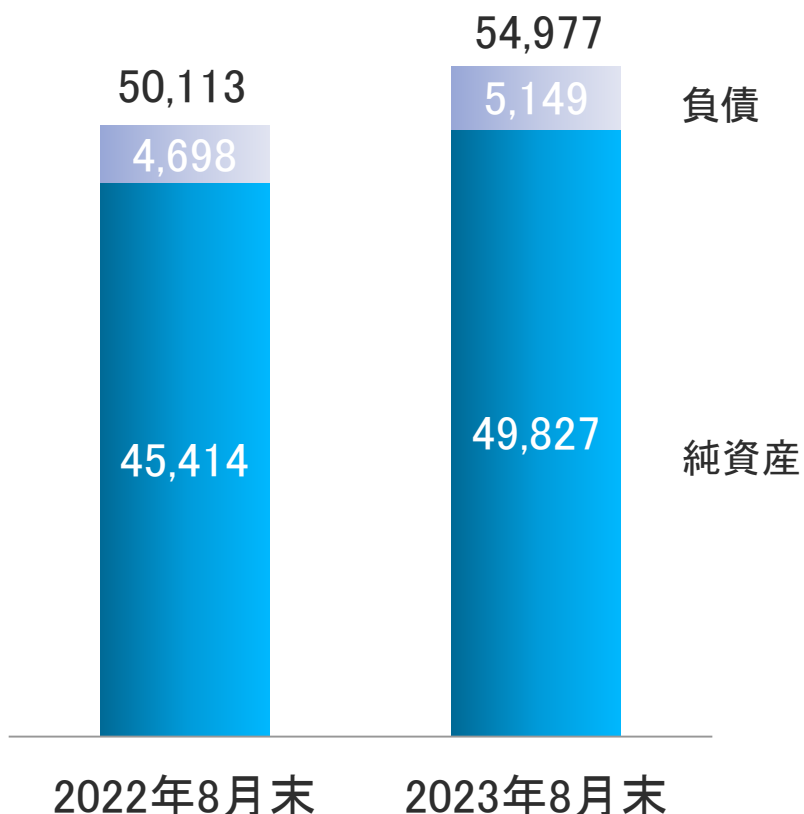
- 強固な自己資本を維持。前期末から設備投資が増加
  - 総資産4,863百万円増加: 現金及び預金、MMG新工場に係る建設仮勘定の増加
  - 負債450百万円増加: 未払金及び賞与引当金等の流動負債の増加
  - 純資産4,412百万円増加: 利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加

(単位: 百万円)

## 総資産



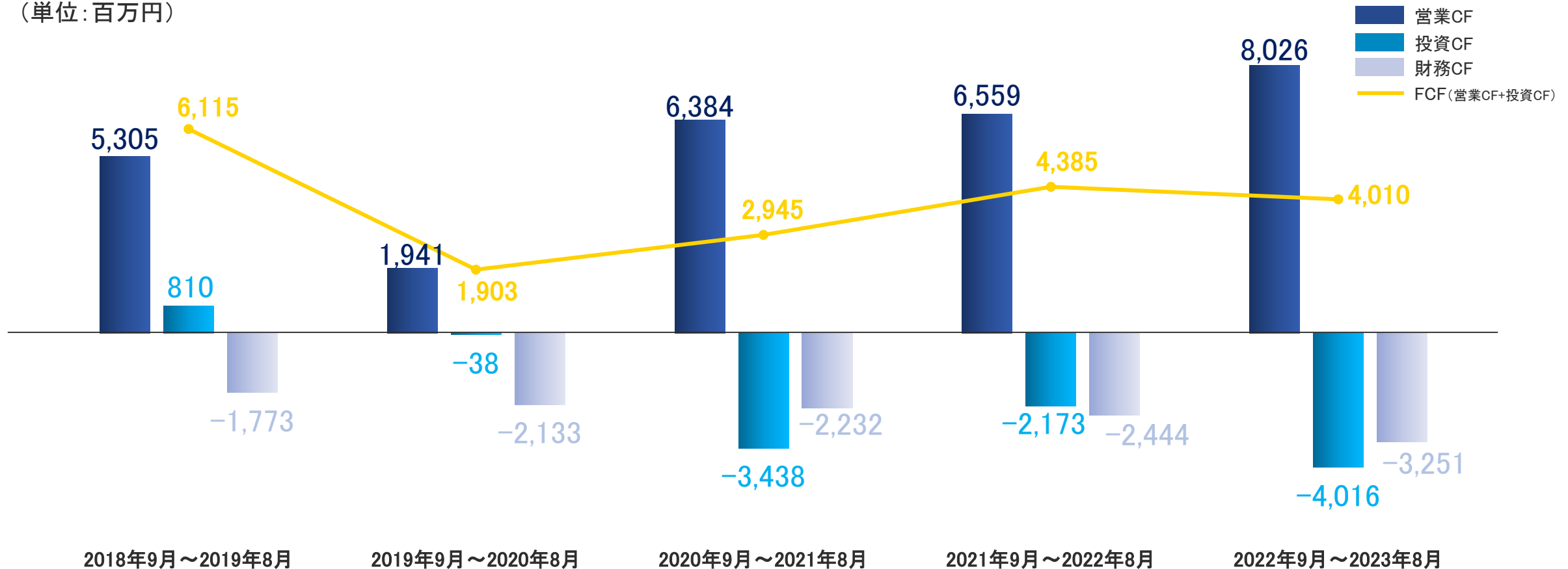
## 負債・純資産



# キャッシュ・フローの状況

- 継続的にフリー・キャッシュ・フローを創出
- 来期より大幅な投資支出を予定(潤沢な手元資金と堅調な営業キャッシュ・イン・フローで充当)
  - 営業キャッシュ・フロー +8,026百万円: 堅調な営業収入および法人税等の支払いによる支出
  - 投資キャッシュ・フロー -4,016百万円: 本社および海外子会社における設備投資に関連する支出
  - 財務キャッシュ・フロー -3,251百万円: 配当金の支払額の増加

(単位:百万円)



# 2024年8月期 業績予想

# 外部環境分析

## ■為替・物価

- 昨年に引き続き円安トレンドが続くと予想。2024年8月期の想定為替レートは135円/ドルで設定
- ベトナムにおける賃金上昇を見込む

## ■事業環境

### 機会

- アイレス針関連製品のシェア拡大(主に北米/中国市場でのシェア拡大)
- インドおよび東南アジア諸国を中心とした「グローバルサウス」や南米地域の医療ニーズの拡大

### 課題

- 中国の景気減速への備えと現地医療機関への影響の分析
- 当社デンタル分野の課題克服(NiTiロータリーファイル「JIZAI」の競争力強化ほか)

## ■その他(規制等)

- 中国における各種規制(バイ・チャイナ政策、反腐敗キャンペーン)への対応

## 連結業績予想

- 売上高・営業利益の2桁成長率達成(3期連続で最高業績更新)を目指す
- 2024年8月期以降を成長投資期として位置づけ、主に販管費の増加を見込む
  - デンタル関連分野の研究開発費やマーケティング費用、IT投資に伴う減価償却費などの費用が増加

(単位:百万円)	2023年8月期 実績	2024年8月期 計画	増減額	増減率
売上高	24,488	27,500	+3,011	+12.3%
売上原価 (%)	9,066 (37.0%)	9,900 (36.0%)	+833	+9.2% (-1.0%)
販管費 (%)	8,177 (33.4%)	9,350 (34.0%)	+1,172	+14.3% (+0.6%)
営業利益 (%)	7,243 (29.6%)	8,250 (30.0%)	+1,006	+13.9% (+0.4%)
経常利益	7,995	8,250	+254	+3.2%
純利益	5,953	5,900	-53	-0.9%

2024年8月期想定 1USD=135.00円 1EUR=145.00円 1元=19.00円

2023年8月期通期 1USD=138.60円 1EUR=146.95円 1元=19.69円

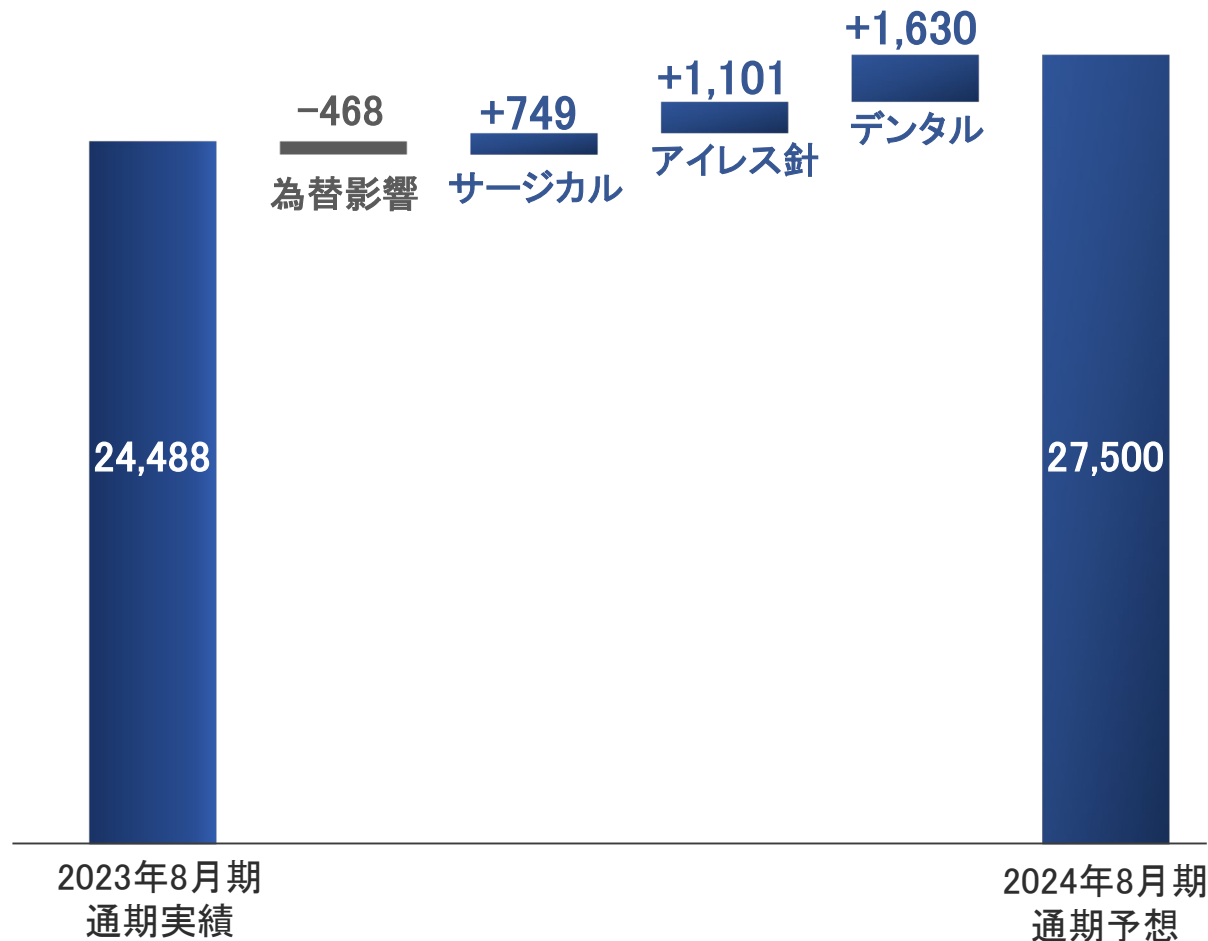
# 連結売上高予想

連結売上高は前年同期比+3,011百万円(+12.3%)の増収を見込む

(単位:百万円)

## 要因別

- 為替影響-468百万円
- サージカル+749百万円
  - ・ アジア・欧州等の地域で白内障手術で使用される眼科ナイフの需要拡大が継続
- アイレス+1,101百万円
  - ・ アジア、欧州、南米を中心とした地域で引き続き販売が増加(北米市場や中国市場におけるシェア拡大の可能性)
  - ・ 中国の景気悪化リスクやそれに伴う医療機関への影響等については注視
- デンタル+1,630百万円
  - ・ 新興国市場での拡販活動により、リーマ・ファイル、ダイヤモンド及びNiTiロータリーファイル「JIZAI」の販売増加を見込む
  - ・ 歯科修復材をはじめとしたドイツMMG製品も欧米市場で販売が増加



2024年8月期想定	1USD=135.00円	1EUR=145.00円	1元=19.00円
2023年8月期通期	1USD=138.60円	1EUR=146.95円	1元=19.69円

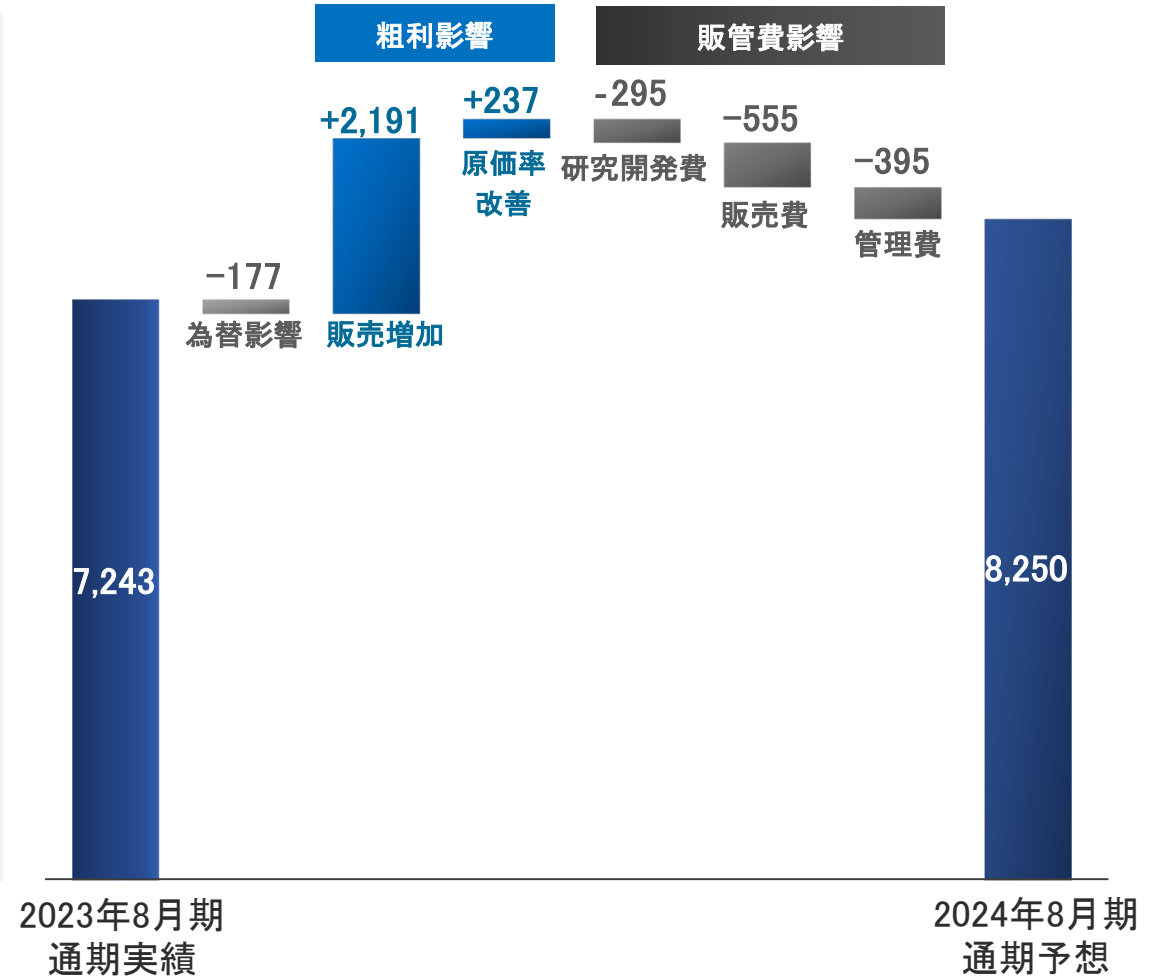
# 連結営業利益予想

連結営業利益は前年同期比+1,006百万円(+13.9%)の増益を見込む

(単位:百万円)

## 要因別

- 為替影響-177百万円
- 粗利影響+2,428百万円
  - ・ 販売の増加が粗利に寄与
  - ・ 売上原価はベトナムにおける賃金増加による製造コストの増加が見込まれる一方で、生産性改善の効果により、売上原価率は低下を見込む。棚卸資産回転率も改善
- 販管費影響-1,245百万円
  - ・ デンタル関連分野におけるマーケティング活動や研究開発活動の強化により、主にデンタル関連製品セグメントにおける販管費が大幅に増加
  - ・ 新たに導入した基幹システムの稼働やMMG新本社・工場に関連する減価償却費が増加



2024年8月期想定 1USD=135.00円 1EUR=145.00円 1元=19.00円  
 2023年8月期通期 1USD=138.60円 1EUR=146.95円 1元=19.69円



## セグメント別業績予想

	科目	2023年8月期 実績	2024年8月期 予想	増減額	増減率	備考
サージカル 関連製品	売上高	6,784	7,400	+615	+9.1%	
	営業利益	2,121	2,300	+178	+8.4%	
	営業利益率	31.3%	31.1%		-0.2%	
	(販管費)	2,322	2,650	+328	+14.1%	計算方法変更の影響
アイレス針 関連製品	売上高	8,574	9,550	+975	+11.4%	
	営業利益	2,865	3,850	+985	+34.4%	
	営業利益率	33.4%	40.3%		+6.9%	
	(販管費)	2,484	2,500	+16	+0.6%	計算方法変更の影響
デンタル 関連製品	売上高	9,128	10,550	+1,421	+15.6%	
	営業利益	2,256	2,100	-157	-7.0%	
	営業利益率	24.7%	19.9%		-4.8%	
	(販管費)	3,371	4,200	+829	+24.6%	計算方法変更の影響

※2024年8月期より販管費のセグメント別の計算方法を変更予定、新セグメント計算による比較はP36をご参照ください  
(デンタル関連製品セグメントで多くの販管費負担が発生する実態をより適切に各セグメントの業績に反映するため)

# 設備投資・研究開発費予想

- **設備投資**

今年度は概ね計画通りに進捗。MMGの新工場関連投資を含む設備投資の総額(2022年8月期から2023年8月期まで)は約30億円で着地  
来年度からスマートファクトリー建設に向けた設備投資を開始し、合計約95億円の大規模な投資を予定

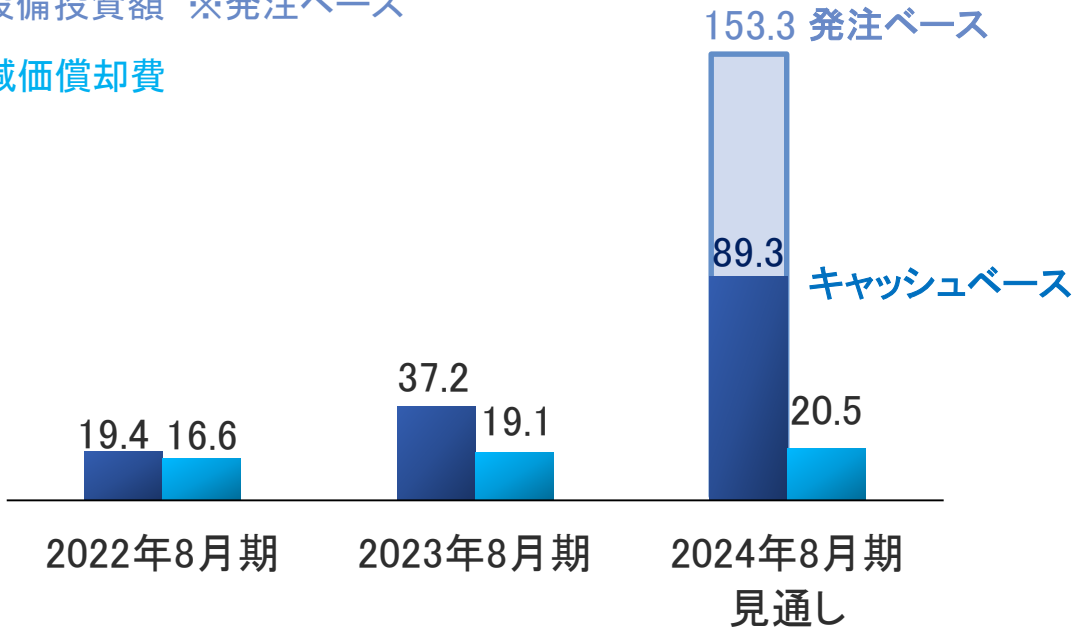
- **研究開発費**

今年度と同水準の売上高研究開発費比率を見込む

## 設備投資・減価償却費

(単位:億円)

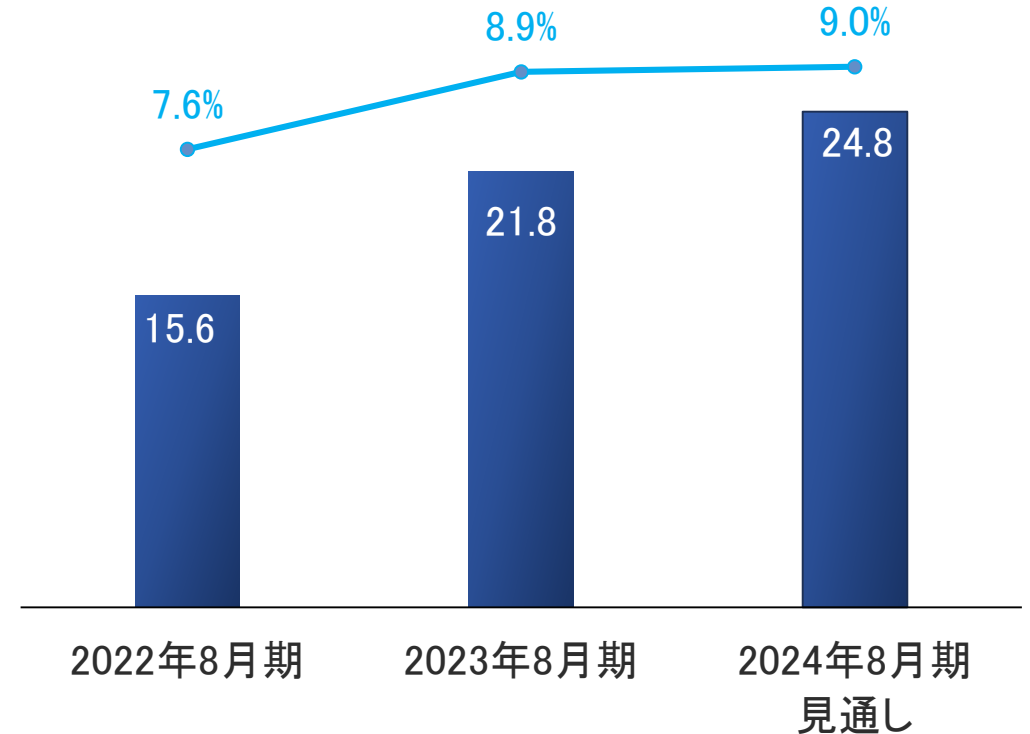
- 設備投資額 ※キャッシュベース
- 設備投資額 ※発注ベース
- 減価償却費



## 研究開発費

(単位:億円)

対連結売上高比率



# 配当予想

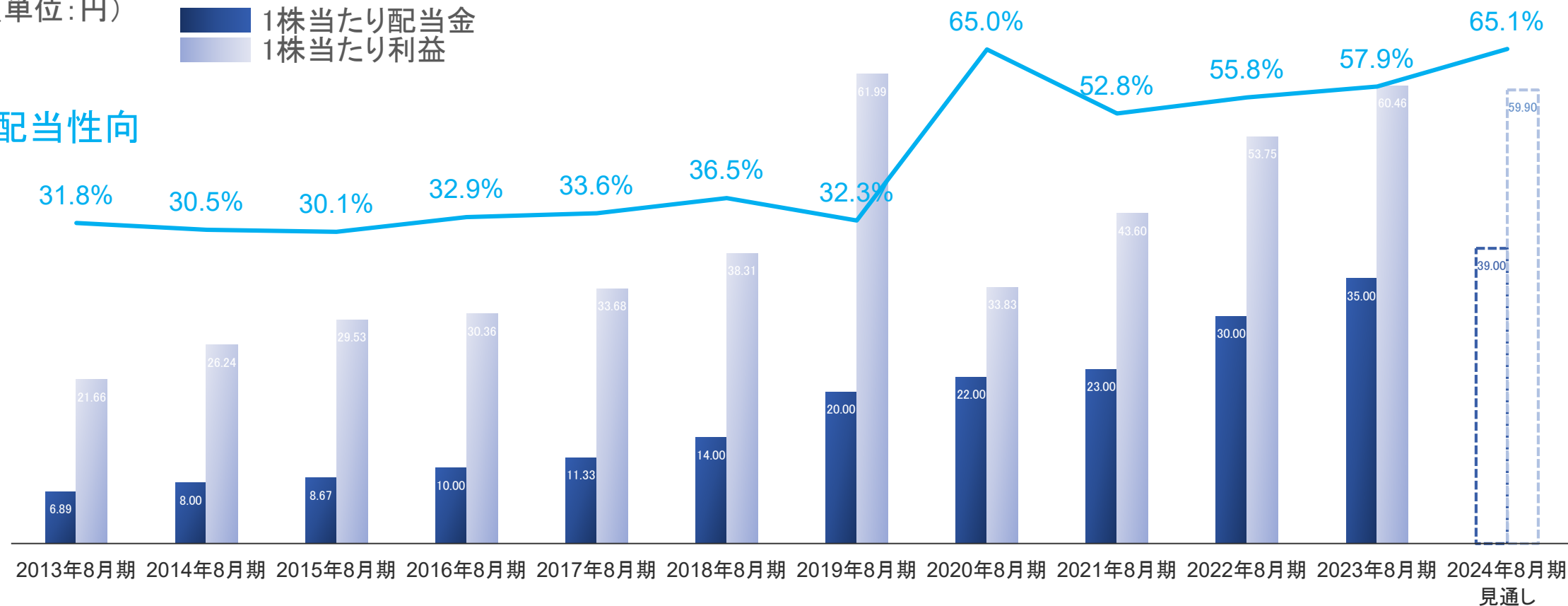
安定的増配の方針を維持し、期末配当は+2円の増配を決定

- 2023年8月期: 期末配当は1株当たり21円を決定(年間配当35円)
- 2024年8月期: 年間配当39円を予定(中間配当16円、期末配当23円)

(単位:円)

■ 1株当たり配当金  
■ 1株当たり利益

## 配当性向

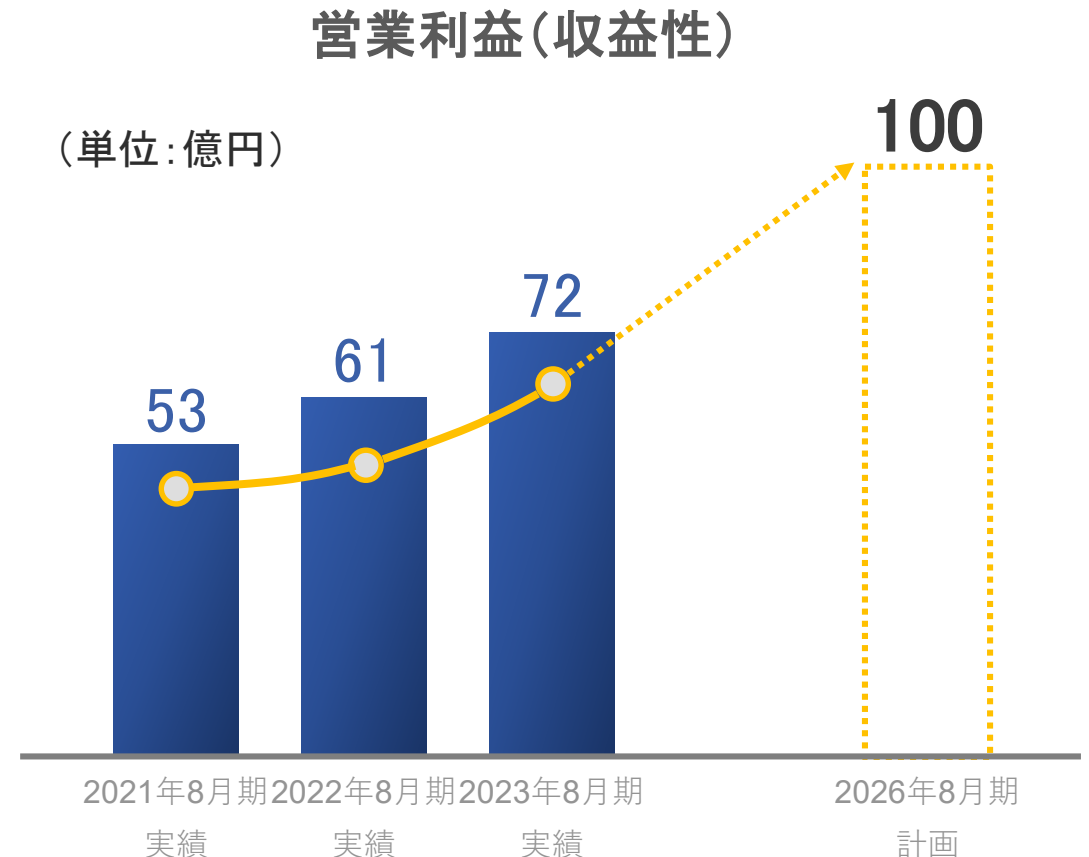
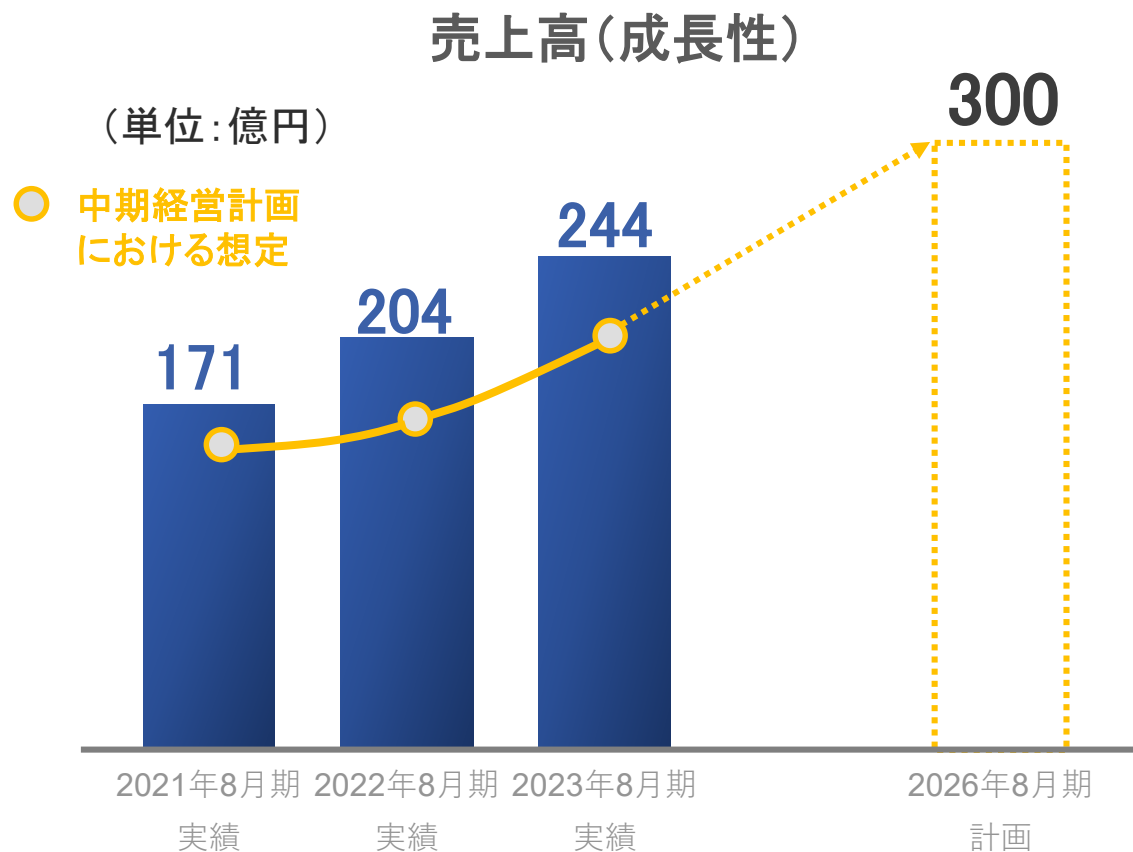


# 中期経営計画

## これからの進化に向けた取り組み

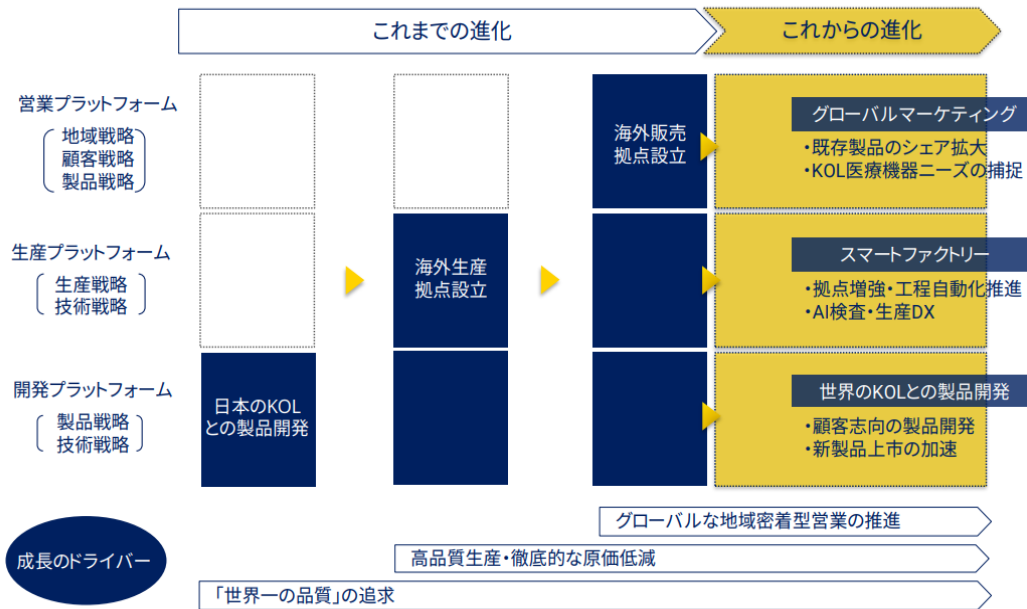
# 中期経営計画 当初計画を上回るペースで着実に成長

- 財務目標に沿った安定的成長を実現
- 2026年8月期目標(売上高300億円、営業利益100億円)達成を視野に、これからの進化に向けた様々な施策に取り組む



# これからの進化に向けた取り組み

2021年発表 中期経営計画資料より再掲



マニーが目指すビジネスモデルの変革  
 既存製品の売上を拡大しながら、真に顧客志向の  
 グローバルマーケティング活動に注力し、新たな収益の  
 柱となる新製品開発を目指す

## 2024年8月期の施策

- 1 スマートファクトリー建設  
ベトナム工場への投資・BCP強化  
ドイツMMGの新本社・工場稼働

グローバル生産体制の構築
- 2 NiTiロータリーファイル「JIZAI」など  
デンタル製品競争力強化

世界のKOLとの製品開発
- 3 グローバルでの販売活動

地域密着型  
グローバルマーケティング
- 4 グループでの環境への取組み  
人的資本経営の推進

サステナビリティ
- 5 中長期的な企業価値向上に向けた  
戦略委員会の設置

中長期戦略の策定

# グローバル生産体制の構築 スマートファクトリーの建設

国内で次世代生産方式を確立し、グローバル生産体制の構築を目指す

- 創業の地である栃木県高根沢町花岡にスマートファクトリーを建設
- デジタル技術を用いた生産性改善を取り入れることで、より難易度が高い製品開発が実現可能
- スマートファクトリーで取り組む重要課題

ベトナム  
一極集中  
リスクの  
低減

地域社会  
貢献や  
環境への  
配慮

ものづくり  
の革新  
(省人化)

## 投資計画 概要

投資額(注)	合計95億円(以下AとBの合計) (A)工場建設 84億円 (B)JIZAI生産ライン(一部) 11億円
場所	栃木県塩谷郡高根沢町大字花岡 (敷地面積 約287,000㎡)
建屋面積	約 16,300㎡ 実効構内 約15,600㎡ 〔生産・共用エリア 11,150㎡〕 構内機械室 590㎡ 物流センター 3,860㎡
日程	JIZAI生産ライン(一部) 2024年11月先行据付け 着工:2023年10月 竣工:2025年1月(予定)

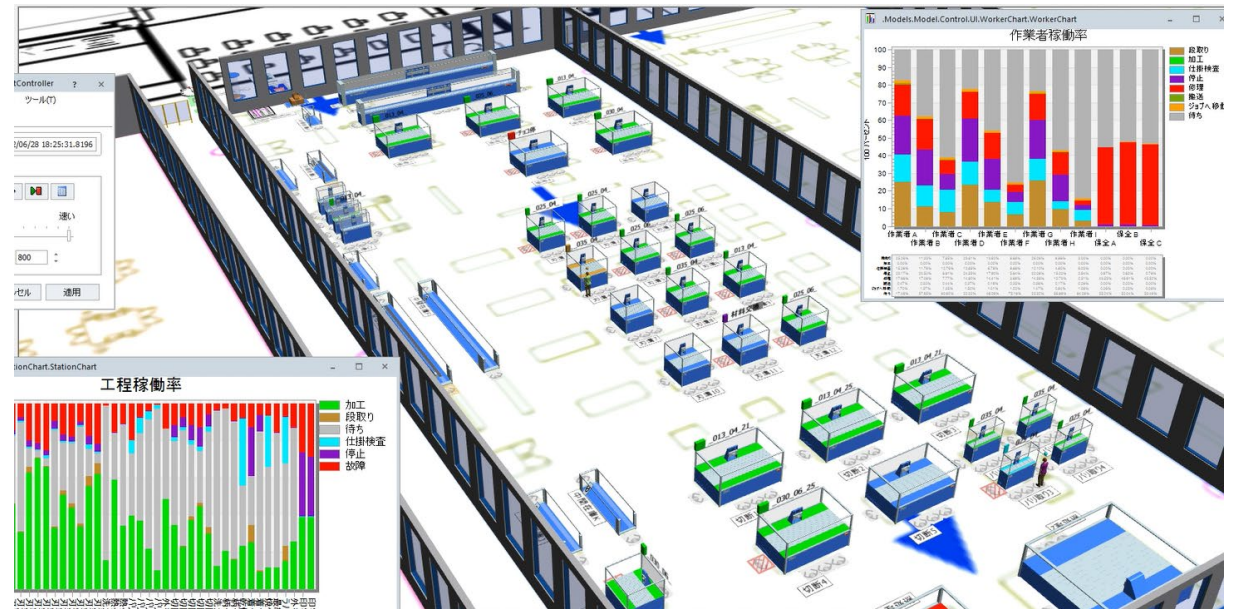
(注)2024年8月期の設備投資予定額は18ページをご参照ください。

将来的に生産ライン増強のための追加的な設備投資を検討しています。詳細につきましては決定次第、速やかにご報告させていただきます。

# グローバル生産体制の構築 スマートファクトリーの建設

## 国内の量産化技術を海外工場へ展開する「パイロット工場」

- スマートファクトリーを最初の「パイロット工場」として位置づけ、海外製造子会社への量産技術展開を見据えたグローバル生産体制の構築を目指す
- NiTiロータリーファイル「JIZAI」の量産から開始し、その後に硝子体鑷子、眼科ナイフ、ダイヤモンド等の製品の量産を想定。製品の原価低減を図りながら、グローバルでの売上拡大を狙う
- 将来的にはスマートファクトリー（パイロット工場）で確立した革新的生産技術・生産ラインをグローバルに展開するビジネスモデルを構築する



デジタル空間上でのシミュレーションの様子

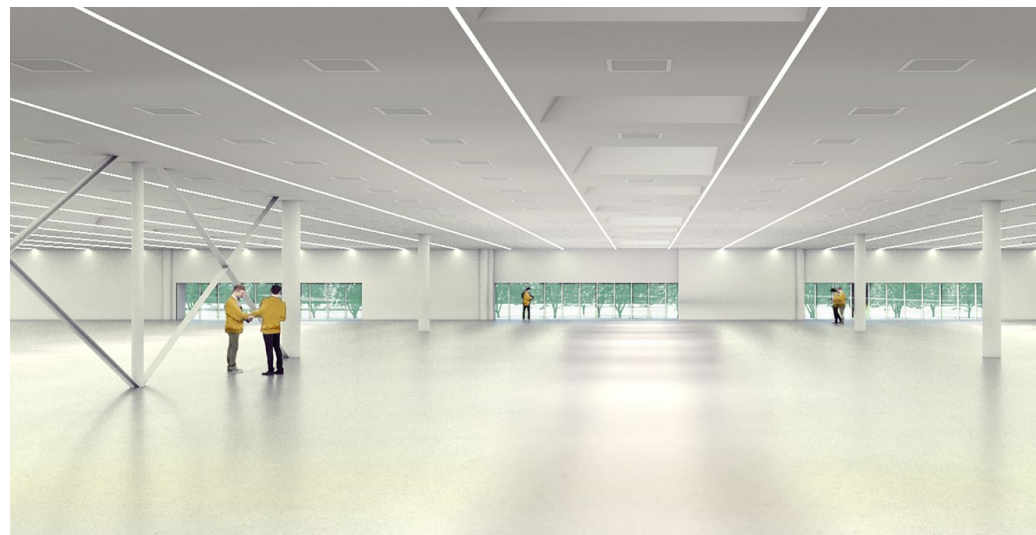


# グローバル生産体制の構築 スマートファクトリーの建設



## 特徴

- ✓ 高根沢の豊かな自然環境に調和
- ✓ 広い屋根を活用し太陽光発電(注)を採用
- ✓ 地元企業と連携
- ✓ 柱間隔と総平屋を活かした一体感ある空間



(注) 電力購入契約 (Power Purchase Agreement) を締結済

# グローバル生産体制の構築

## 生産数量増加に伴うベトナム工場の増強

ベトナム工場のリニューアルにより、生産能力増強とBCP強化を図る

- 中計の進捗状況が堅調であり、生産数量が大きく増加していることから、ベトナム工場を増設しサージカル製品およびデンタル製品の製造キャパシティを増強する
- 火災リスク等のBCP対策強化にも繋がる
- 工場を増設するとともに(下記ステップ1)、老朽化した工場設備は撤去し、既存工場は法対応・火災リスク低減のための改修を実施(下記ステップ2)

日程	投資額	内容
ステップ1 (2023年7月～ 2025年10月)	21億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>• MHC工場敷地内に新たに建屋を建設</li> <li>• 面積拡張により生産能力の増強を図る</li> </ul>
ステップ2 (2025年3月～ 2026年7月)	3億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>• MHC工場敷地内で老朽化した工場設備の撤去や改修を行う</li> <li>• BCPを強化(火災などの災害リスク低減)</li> </ul>



新たに建設する  
工場棟の完成イメージ図

# グローバル生産体制の構築 ドイツMMG 新本社・工場の完成

新本社・新工場の完成により、歯科用修復材の生産キャパシティが拡充

- MMGの新本社・工場が2023年8月に完成し、同年9月より本格稼働を開始
- 歯科用修復材の生産キャパシティ増強により、欧米市場からの強い製品需要に対応



MMGの新本社・新工場  
2023年10月に落成式を開催

## MMG新本社・工場の概要

所在地	ドイツ連邦共和国ヘッセン州
敷地面積	23,146m <sup>2</sup>
延床面積	9,338m <sup>2</sup>
生産品目	歯科用材料の開発・製造・販売

# 世界のKOLとの製品開発 デンタル製品の競争力強化

## デンタル分野の課題克服に向けた取り組み

- 中期経営計画の重点開発製品であるNiTiロータリーファイル「JIZAI」について、コロナ禍の影響もあり、販売目標達成が数年ほど遅延している状況
- 一部のKOL医師からは製品の品質優位性(根管追従性の高さ)について非常に高い評価を得ているが、十分にその強みが市場に浸透していない
- 今後の課題: 多くの医師に実際に使って頂く/品質の高さを実感頂くこと

### 施策①: 高付加価値追求へ向けた取り組み

- ✓ デンタル製品のマーケティング&ブランド力強化
- ✓ AI・IoT等のデジタル技術を活用した低コスト生産(スマートファクトリーによる量産)

### 施策②: 模倣品排除へ向けた取り組み

- ✓ デンタル模倣品対策(主にアジア、南米、中東市場)

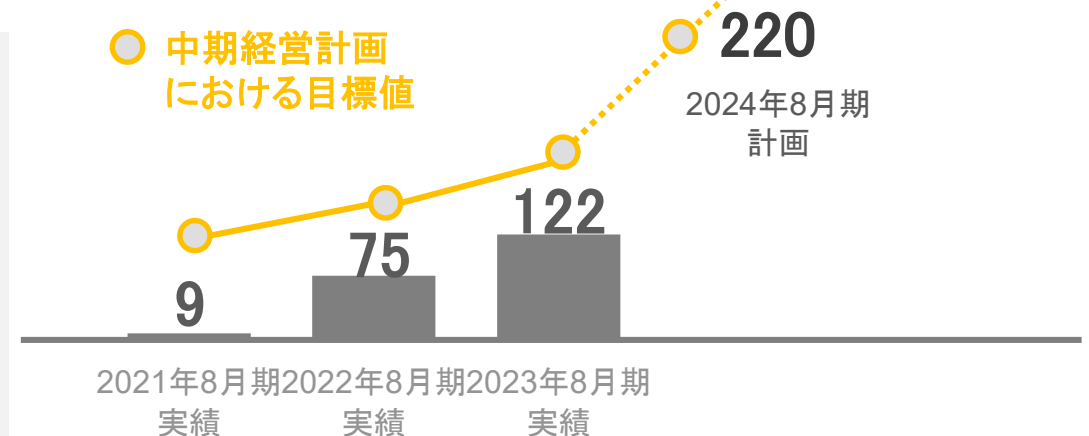
## NiTiファイル「JIZAI」売上高

(単位: 百万円)

NiTi ロータリーファイル



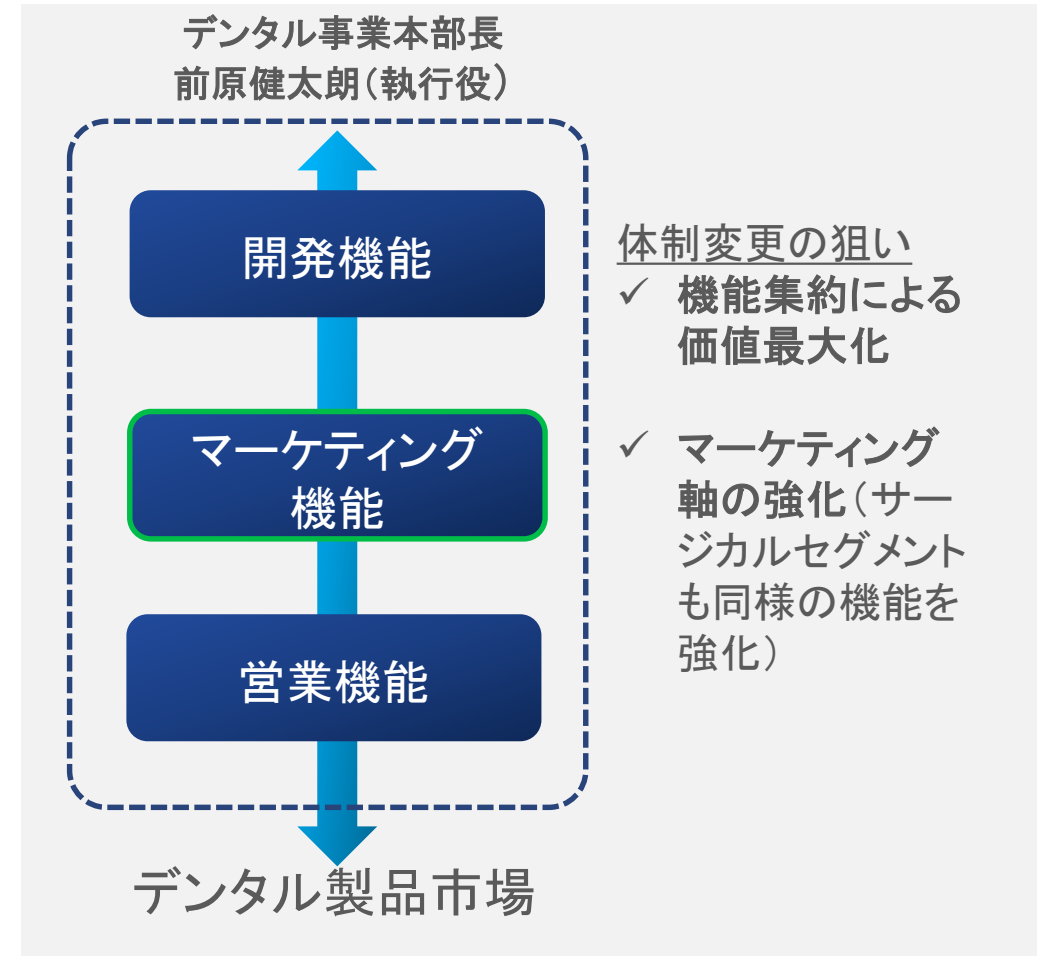
○ 中期経営計画  
における目標値



# 世界のKOLとの製品開発 デンタル製品の競争力強化

新たな組織として「デンタル事業本部」を設置・活動開始(2023年9月～)

- 当社デンタル関連製品の市場シェア・売上拡大及び競争力強化を2024年8月期の重要課題に設定
- グローバルマーケティングによる更なる市場シェア・売上拡大を目指しながら、市場ニーズを速やかに捉える製品開発を一体的に進め、デンタル分野における競争優位を高める
- この組織変更に伴い、セグメント別の販管費の計算方法を2024年8月期より変更予定。デンタル関連製品セグメントのマーケティング費用等の増加を見込む(業績予想17ページ参照)



# 地域密着型グローバルマーケティング 「世界一の品質を世界のすみずみへ」を実現するために

## 欧州

- ドイツMMGの新工場稼働により、生産能力が拡大し、歯科用修復材の売上が欧米及びアジア市場で拡大
- デンタル製品を中心に欧州市場を開拓し、売上を拡大

## 北米

- 北米市場への本格的な参入開始
- 流通チャネルの強化

## アジア・パシフィック

- 2023年11月からマレーシア販売子会社(MMM)が本格的に東南アジア市場をターゲットに活動開始
- NiTiファイルのマーケティング強化(デンタル)

## 国内

- 硝子体鑷子の発売による市場開拓(サージカル)
- NiTiファイルのマーケティング強化(デンタル)

# マニーサステナビリティ グループ全体での取り組み

日本、ベトナム、ドイツそれぞれの拠点で太陽光発電等の仕組みを導入  
CO2排出量を2030年度までに25%削減(2022年度比)を目指し、地域社会に貢献する

日本

## 清原本社&高根沢スマートファクトリー

電力購入契約(Power Purchase Agreement)を締結し、地元企業等と連携しながら、地域一丸となってCO2排出量削減に取り組む  
高根沢スマートファクトリーにて太陽光発電の導入

ベトナム

## ベトナム工場での太陽光発電

ベトナム工場はグループ内で最も多くのCO2を排出するため、この施策によりグループ全体の目標に大きく貢献可能

ドイツ

## MMG新本社工場での取り組み

新本社工場の屋根に太陽光発電パネルを設置  
EVチャージャーステーションを設置し、社用車のEV化を推進予定



ドイツMMG新本社工場  
太陽光発電パネルの設置

# マニーサステナビリティ 人的資本経営の推進

これからの進化に向けて、様々な人事施策に取り組む

2023年8月期に実施した主な施策

- **経験者採用の強化**

- 中期経営計画達成を視野に入れ、経験者の採用を積極化し、多種多様なスキルを確保（年齢・業界・性別・スキル等、様々なバックグラウンド）
- 経験者採用者数（2023年8月期：21名、2022年8月期：14名）

- **専門教育や研修の実施**

- KOL医師と連携した医科や歯科の専門勉強会の実施
- 多様性への理解を深めるためのワークショップ
- ITリテラシー向上に向けた取組み、業務のデジタル化推進

- **働きやすい職場づくり/社員同士の交流活発化**

- フレックス勤務を職種問わず国内で導入
- 東京に加えて、大阪にサテライトオフィスを開設
- 全世界のマニーグループ幹部社員を集めたセッションを開催



# 中長期的な企業価値向上に向けて 戦略委員会を設置予定

監督側と執行側の対話による、将来の戦略・方向性の検討

## 戦略委員会の役割

取締役会による戦略の意思決定支援を行う役割を果たす

## 戦略委員会で取り扱う主な論点

1. 現中期経営計画(～2026年8月期まで)重点施策の進捗モニタリング
2. 次期中期経営計画に関するディスカッション
3. 成長に向けた組織能力/人材育成/経営基盤の強化

# 世界一の品質を世界のすみずみへ

## THE BEST QUALITY IN THE WORLD, TO THE WORLD

本資料に記載された業績見通し等の将来に関する記述は、資料作成時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。また、この資料に記載された情報は、あくまで当社をより理解して頂くためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。

### 《お問い合わせ先》

マニー株式会社 経営企画グループ

栃木県宇都宮市清原工業団地8-3

TEL:028-667-1811

Email: [ir@mani.inc](mailto:ir@mani.inc)

HP: <https://www.mani.co.jp/>



MANI

# 補足資料

## ご参考：新セグメント計算方法による比較

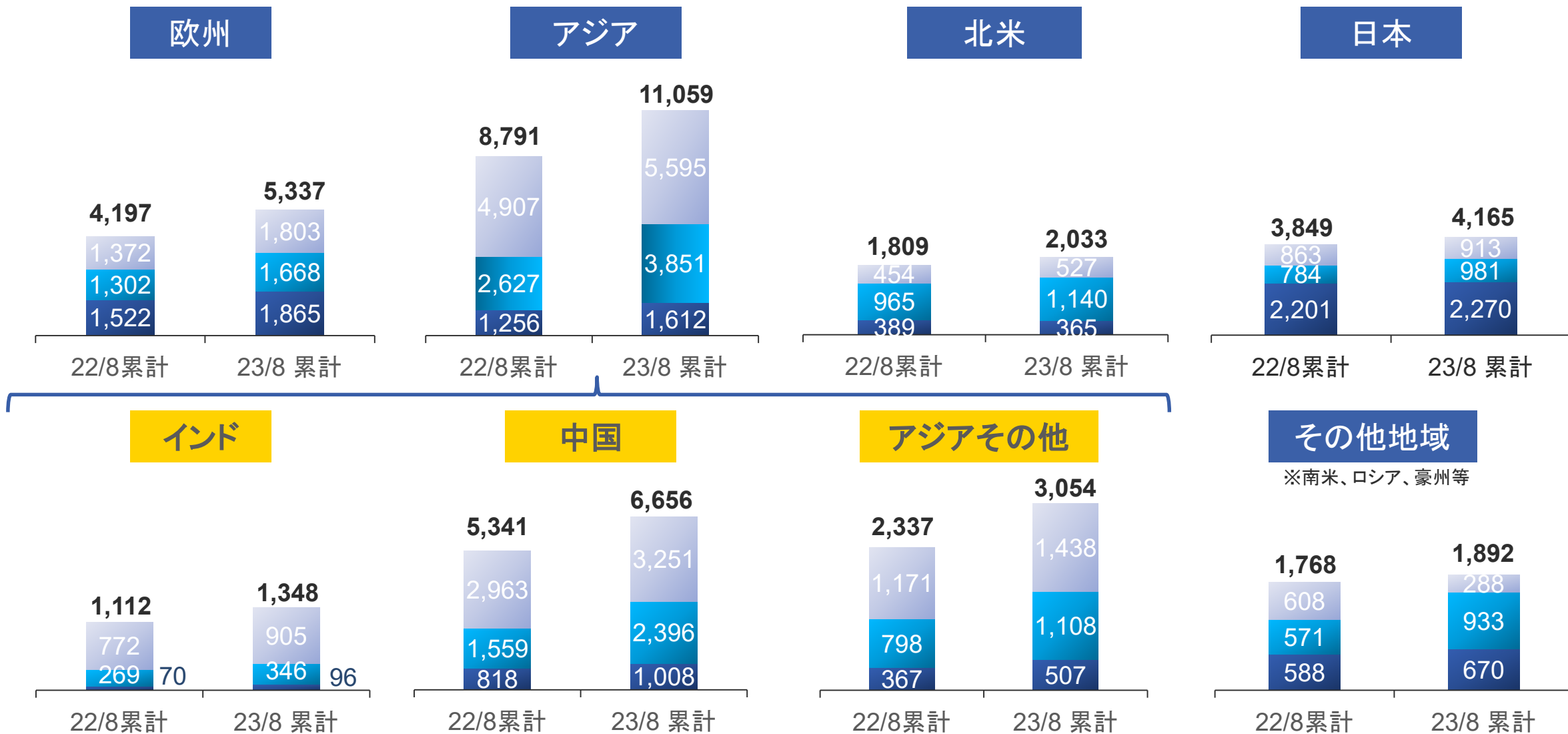
	科目	2023年8月期 実績 (現方式)	2023年8月期 実績※ (新方式)	2024年8月期 予想 (新方式)	増減 予想-実績 (新方式)	備考
サージカル 関連製品	売上高	6,784	6,784	7,400	+616	
	営業利益	2,121	2,117	2,300	+183	
	営業利益率	31.3%	31.2%	31.1%	-0.1%	
	(販管費)	2,322	2,350	2,650	+300	
アイレス針 関連製品	売上高	8,574	8,574	9,550	+976	
	営業利益	2,865	3,129	3,850	+721	
	営業利益率	33.4%	36.5%	40.3%	+3.8%	
	(販管費)	2,484	2,159	2,500	+341	
デンタル 関連製品	売上高	9,128	9,128	10,550	+1,422	
	営業利益	2,256	1,996	2,100	+104	
	営業利益率	24.7%	21.9%	19.9%	-2.0%	
	(販管費)	3,371	3,668	4,200	+532	

※2023年8月期実績：各セグメントの販管費を新たなセグメント計算方法により再計算したもの

# 売上高の状況(地域別 詳細)

(単位:百万円)

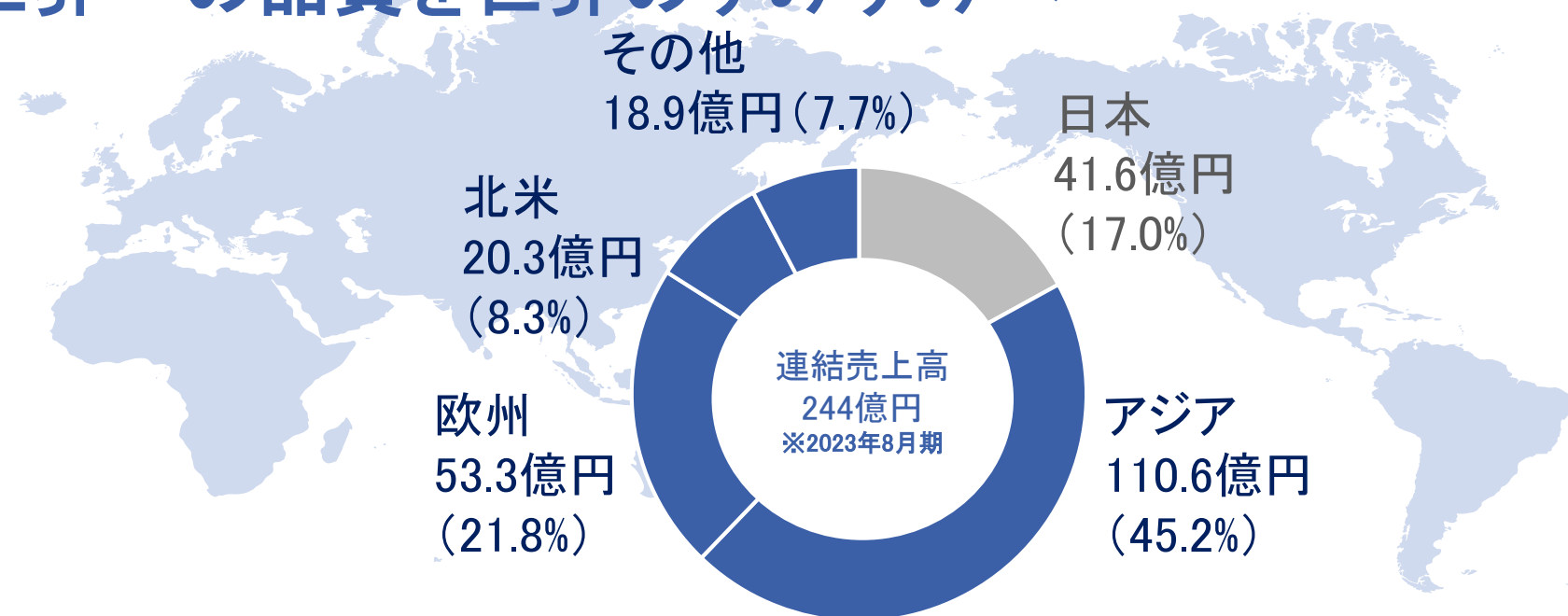
デンタル  
アイレス針  
サージカル



## 会社概要(2023年8月31日現在)

商号	マニー株式会社	代表者	代表執行役社長 齊藤 雅彦
証券コード	7730	従業員数	単体:366名 連結:3,685名
創業	1956年(昭和31年)	資本金	1,066百万円
本社	栃木県宇都宮市清原工業団地8番3		

## 世界一の品質を世界のすみずみへ



販売地域

120カ国以上

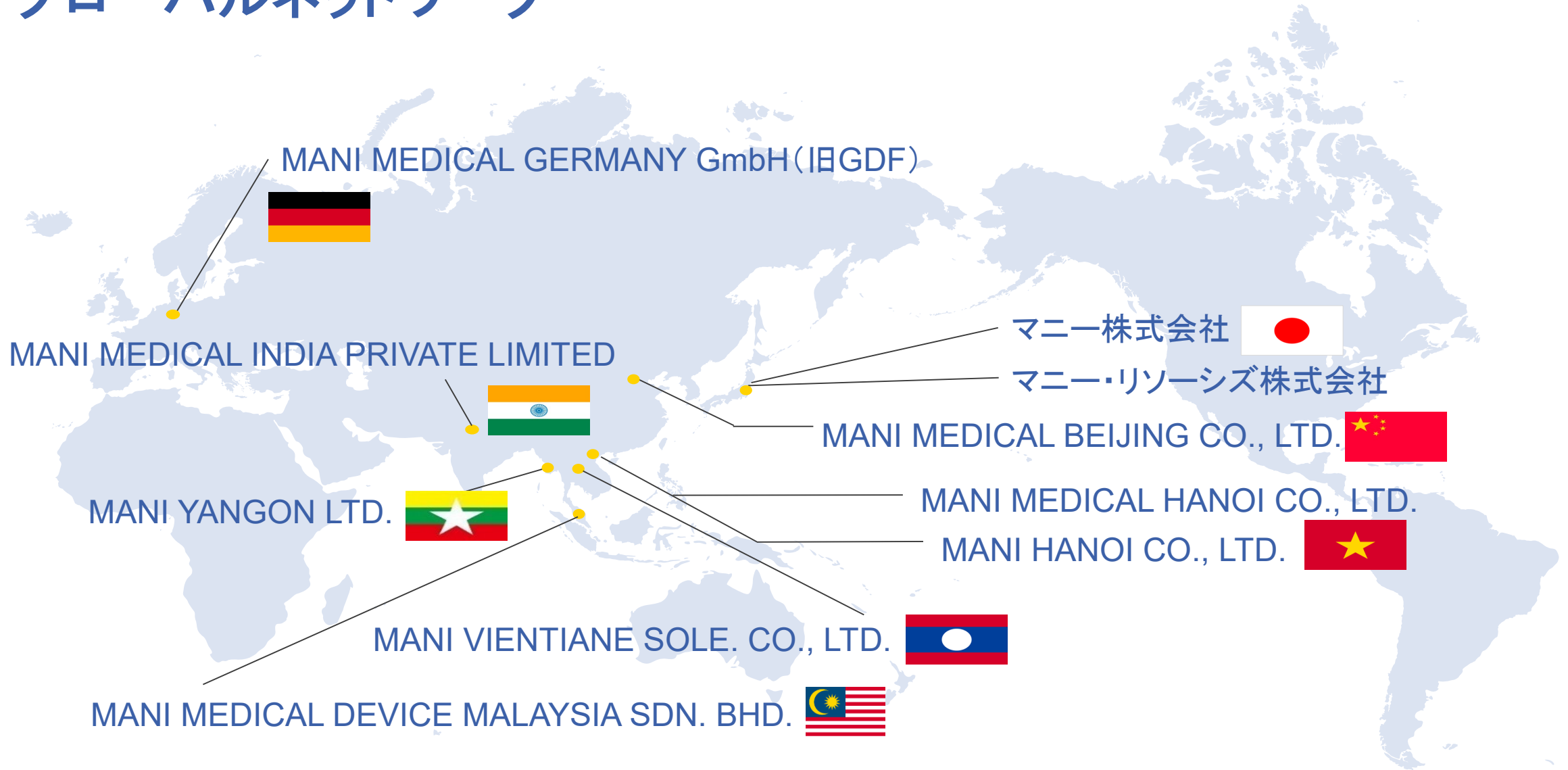
海外売上高比率

83.0%

眼科ナイフ

世界シェア 30%程度

# グローバルネットワーク



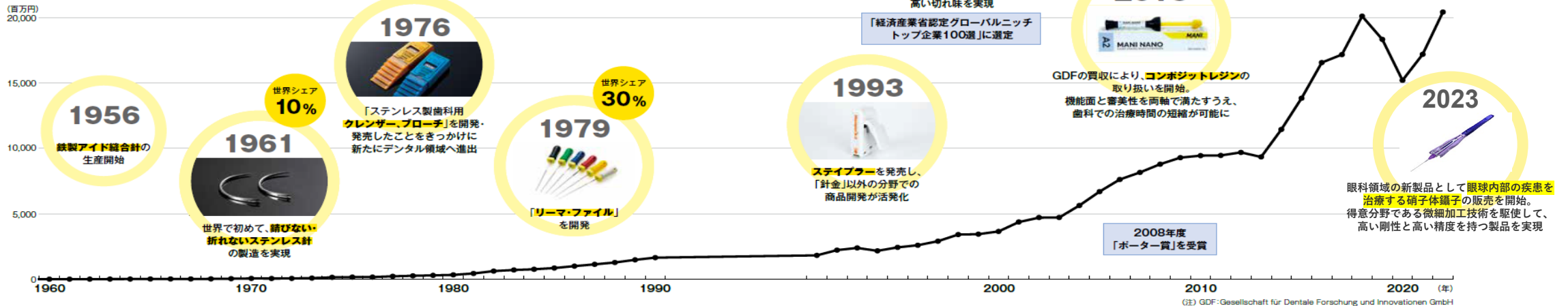
# 歴史・沿革

- 創業から一貫して医療小物消費財の開発・生産・販売に取り組む
- ニッチな製品群に特化したビジネスモデルで、世界的に高い市場シェアを獲得  
(Johnson & Johnson, Alcon, Dentsply Sirona等の世界的企業との差別化を実現)
- ベトナムでの高品質・低コスト生産体制を確立したほか、近年はデンタル領域でドイツ企業(MMG)を買収し、事業シナジーも追求

## マニーのあゆみ

マニーは創業以来、患者と医師の役に立つ製品を創り出すことを追求し、微細加工技術が必須とされる医科・歯科治療機器の領域において、ビジネスモデルを進化させグローバル展開を進めることで成長してきました。これからも、社会の求めるニーズや事業環境の変化を細やかに捉えた事業展開により、持続的な成長を目指します。

### マニーの歴史と連結売上高の推移





## 戦略立案の基準 「やらない」経営

トレード・オフ (やらないこと)を明確化し、愚直なまでに実行

- ①医療機器以外扱わない
- ②世界一の品質以外は目指さない
- ③製品寿命の短い製品は扱わない
- ④ニッチ市場(年間世界市場 5,000億円程度以下)以外に参入しない

# 長期成長の実現に向けて (1)

- 売上高の成長と高水準の利益率を両立
- 不況期に強いビジネスモデル(リーマン・ショック&コロナ・ショック時でも高収益率)



# 長期成長の実現に向けて (2)

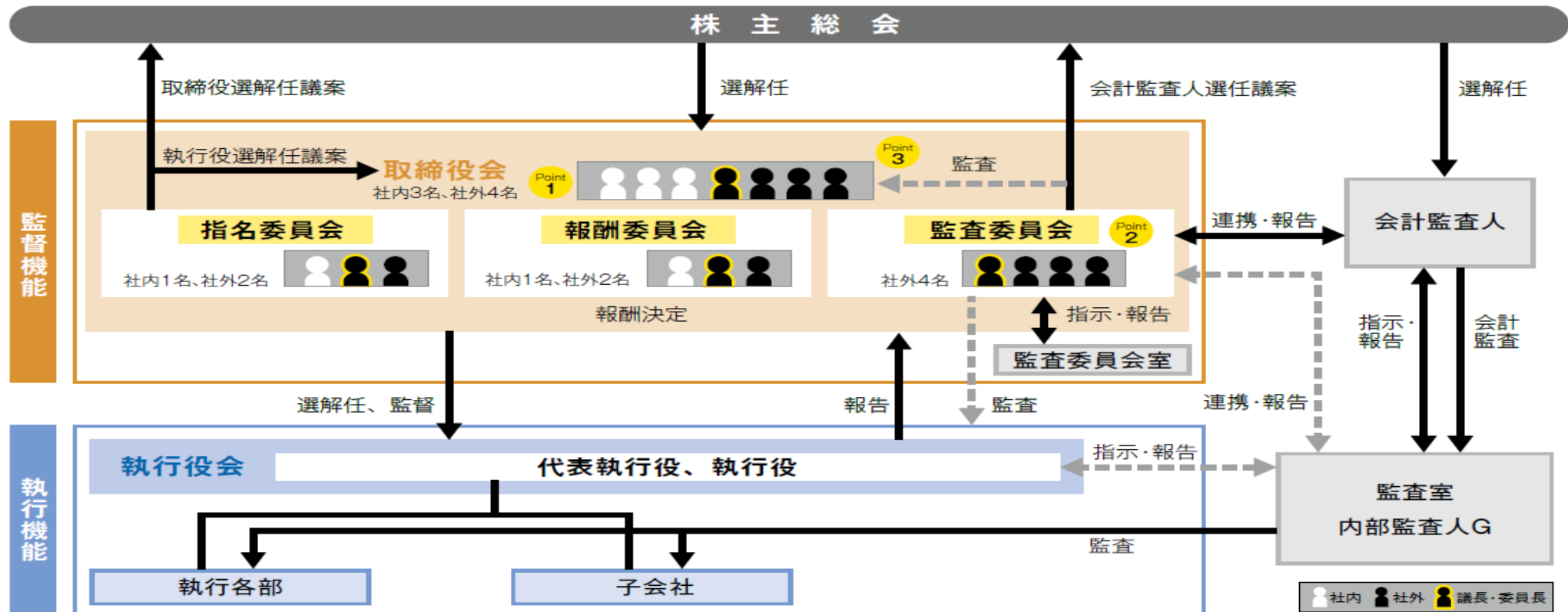
TOPIX(東証株価指数)を大きく上回る株価成長



(注) グラフはSpeedaより当社作成

# ガバナンスへの取り組み

- 2004年より委員会等設置会社(現 指名委員会等設置会社)に移行
- 独立社外取締役が過半数
- 取締役会議長も社外取締役
- 各委員会(指名委員会・監査委員会・報酬委員会)の委員長も独立社外取締役



# 経営指標

	2016年8月期	2017年8月期	2018年8月期	2019年8月期	2020年8月期	2021年8月期	2022年8月期	2023年8月期
売上高(百万円)	16,555	17,167	20,102	18,327	15,200	17,190	20,416	24,488
営業利益(百万円)	4,245	4,261	5,080	5,865	4,340	5,348	6,163	7,243
営業利益率(%)	25.6%	24.8%	25.3%	32.0%	28.6%	31.1%	30.2%	29.6%
経常利益(百万円)	4,055	4,624	5,221	5,688	4,424	5,679	7,544	7,995
当期純利益(百万円)	3,005	3,315	3,770	6,101	3,329	4,291	5,290	5,953
総資産(百万円)	29,922	34,244	37,683	39,813	39,289	42,693	50,113	54,977
純資産(百万円)	26,781	30,478	33,546	35,327	36,566	39,202	45,414	49,827
自己資本比率(%)	89.5%	89.0%	89.0%	88.7%	93.1%	91.8%	90.6%	90.6%
ROE(%)	11.1%	11.6%	11.8%	17.7%	9.3%	11.3%	12.5%	12.5%
PBR(倍) <small>(※8月31日時点)</small>	2.56	2.74	4.75	6.92	7.24	5.47	3.81	4.12
設備投資額(百万円) <small>(※キャッシュアウトベース)</small>	2,634	2,331	1,262	1,326	1,692	3,862	1,945	3,720
期末発行済株式数 (千株)	35,637	35,637	35,637	35,637	98,426	98,426	98,426	98,496
1株当たり純利益(円)	30.4	33.7	38.3	62.0	33.8	43.6	53.8	60.46
1株当たり配当(円)	10.0	11.0	14.0	20.0	22.0	23.0	30.0	35.0

**MANI**